

リンク開創器

【禁忌・禁止】

本品の曲げ、切削、打刻(刻印)等の二次的加工(改造)はしないこと[折損等の原因となる]。

【形状・構造及び原理等】

<形状・構造>

代表製品 15-1024



<原理>

手術時に術野を露出し、開創を保持するため、あらゆる創部の形状に対応している。

製品番号一覧

製品番号		
10-1350/14	10-1388/02	70-1712
10-1350/15	10-1388/03	70-1714
10-1350/17	10-1388/04	70-1716
10-1350/24	10-5022	70-1718
10-1350/25	10-5024	70-1870/01
10-1350/26	10-5026	70-1870/02
10-1350/28	10-5028	70-1870/03
10-1350/29	10-5030	70-1960
10-1350/30	10-5032	70-1962
10-1350/32	15-1024	70-1964
10-1360	64-4159/12	75-2320/45
10-1362	64-4159/15	75-2320/46
10-1365/01	64-4160/11	75-2320/47
10-1365/02	64-4160/13	75-2320/48
10-1365/03	64-4160/14	75-2550
10-1370	64-4160/15	75-2552
10-1371	64-4160/16	75-2554
10-1372	64-4160/17	75-2555
10-1375	64-4160/32	75-2556
10-1376	64-4160/33	75-2600
10-1378	64-4161/02	75-2601
10-1380/01	64-4161/03	75-2602
10-1380/02	64-4161/04	75-2603/01
10-1380/03	64-4161/05	75-2603/02
10-1380/04	64-4161/07	75-2612
10-1380/05	64-4161/08	75-2613
10-1380/06	64-4161/09	75-2614
10-1385/01	64-4161/10	75-2615
10-1385/02	64-4161/20	75-2616
10-1385/03	64-4163/01	75-2618
10-1385/04	64-4163/02	75-2620
10-1385/05	64-4163/03	75-2621
10-1385/06	64-4163/04	75-2622
10-1386/01	64-4165	75-2624
10-1386/02	68-1760	75-2626/01
10-1387/01	68-1765	75-2626/02
10-1387/02	70-1700	75-2626/03
10-1387/03	70-1702	75-2626/04
10-1387/04	70-1704	75-2626/05
10-1387/05	70-1706	75-2626/06
10-1387/06	70-1708	75-2626/07
10-1388/01	70-1710	75-2628/01

製品番号		
75-2628/02	75-2677/05	75-2677/75
75-2628/03	75-2677/06	75-2677/76
75-2628/04	75-2677/07	75-2677/77
75-2628/05	75-2677/08	75-2677/78
75-2628/06	75-2677/09	75-2677/79
75-2628/07	75-2677/10	75-2677/80
75-2633/01	75-2677/11	75-2677/81
75-2633/02	75-2677/12	75-2677/82
75-2634/01	75-2677/13	75-2677/83
75-2634/02	75-2677/14	75-2677/84
75-2634/04	75-2677/15	75-2677/85
75-2634/05	75-2677/16	75-2677/86
75-2634/14	75-2677/17	75-2677/87
75-2635	75-2677/18	75-2677/88
75-2636/01	75-2677/19	75-2677/89
75-2636/05	75-2677/20	75-2677/90
75-2638	75-2677/21	75-2677/91
75-2645	75-2677/22	75-2677/92
75-2648/02	75-2677/23	75-2677/93
75-2648/04	75-2677/24	75-2677/94
75-2648/06	75-2677/25	75-2677/95
75-2648/10	75-2677/26	75-2677/99
75-2670/01	75-2677/27	75-2678/01
75-2670/02	75-2677/28	75-2678/02
75-2670/03	75-2677/29	75-2678/03
75-2670/04	75-2677/30	75-2678/04
75-2670/05	75-2677/31	75-2678/05
75-2670/06	75-2677/32	75-2678/06
75-2670/07	75-2677/33	75-2679/01
75-2670/08	75-2677/34	75-2679/02
75-2670/12	75-2677/35	75-2679/03
75-2670/13	75-2677/36	75-2679/04
75-2670/15	75-2677/37	75-2690
75-2670/20	75-2677/38	75-2700
75-2670/26	75-2677/39	75-2702
75-2674/01	75-2677/40	75-2704
75-2674/02	75-2677/41	75-2705/01
75-2674/03	75-2677/42	75-2705/05
75-2674/04	75-2677/43	75-2705/10
75-2674/05	75-2677/51	75-2710
75-2675/01	75-2677/52	75-2712
75-2675/02	75-2677/53	75-2714
75-2675/03	75-2677/54	75-2720
75-2675/04	75-2677/55	75-2722
75-2675/05	75-2677/56	75-2724
75-2675/06	75-2677/57	75-2725
75-2675/07	75-2677/58	75-2730
75-2675/08	75-2677/59	75-2734
75-2675/09	75-2677/60	75-2677/71
75-2675/10	75-2677/61	75-2677/72
75-2676/01	75-2677/62	75-2677/73
75-2676/02	75-2677/63	75-2677/74
75-2676/03	75-2677/64	75-2735
75-2676/04	75-2677/65	75-2736
75-2676/05	75-2677/66	75-3400/35
75-2676/06	75-2677/67	75-3420
75-2676/07	75-2677/68	75-3422
75-2676/08	75-2677/69	75-3424
75-2676/09	75-2677/70	75-3824
75-2677/01	75-2677/71	75-3826
75-2677/02	75-2677/72	75-6552
75-2677/03	75-2677/73	75-6562
75-2677/04	75-2677/74	

製品番号一覧

製品番号		
66-3505/01	66-3515/03	66-3560/01
66-3505/02	66-3515/04	66-3560/02
66-3505/03	66-3550/01	66-3560/03
66-3505/04	66-3550/02	66-3560/04
66-3510/01	66-3550/03	66-3550/01
66-3510/02	66-3550/04	66-3500/02
66-3510/03	66-3555/01	66-3500/05
66-3510/04	66-3555/02	66-3500/06
66-3515/01	66-3555/03	66-3500/10
66-3515/02	66-3555/04	66-3500/11

【使用目的又は効果】

組織又は他の解剖学的部位を分離するために用いる手術器具をいう。臓器又は組織の露出やアクセスによって検査又は治療を可能にする。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

切開手術中に本品を創縁にかけ、創部を広く固定する。なお、本品は未滅菌の状態で供給されるため、使用前に必ず以下の方法等により滅菌した上で使用する。

*＜滅菌方法及び滅菌条件例＞

滅菌方法	滅菌条件
オートクレーブ滅菌 (プレバキューム)	温度：134℃ 時間：5 分間

*【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 使用前に必ず洗浄・滅菌をすること。
2. 変形したり、動き具合が変わったりすることもあるので、本品に無理な力を加えないこと。
3. 本品を落としたり、大きな力を加えて、金属部分に割れが生じたりした場合には、廃棄するか、点検修理に出すこと。
4. 破損した器具、または未整備の器具を使用すると、把持/保持性能が悪化して、誤った手術結果を生じるおそれがあるので、性能の不完全な器具は、全てメーカーにてメンテナンスを受けること。
5. 折損、曲がり等の原因になるので使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。
6. 使用後は直ちに洗浄し、清潔に保つこと。
7. デザインや形状は、使用時および洗浄・滅菌時の、性能や安全性に重大な影響を及ぼすことがあるので、勝手に変更や改造をしないこと。
8. 各器具の寸法と型式は、包装ラベルを参照すること。
9. 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
10. 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

貯蔵・保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐ為に保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥すること。

*【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、できるだけ早く、手または機械で器具を洗浄すること。
1. 器具に汚れが付いたままで乾燥させないこと。
2. 洗浄を後回しにせざるを得ない場合は、適切な溶液の中に器具を入れておくこと。但し単なる水は使わないこと。
3. 機器の窪んだ部分や見えない部分は定期的に点検し、残存物等が完全に除去されていることを確認すること。
4. 腐食や破損のリスクが増大するため、器具に機械的ストレスを加えたままにしないこと。整頓されていない状態で、器具を放置しないこと。より重い器具を下に、より軽い器具を上にしておくこと。
5. 殺菌剤や洗浄剤を使う場合は、必ずメーカーの指示に従うこと。洗浄剤の用量決定は非常に重要であり、器具の汚れ具合や水質など条件に適合させる必要がある。
6. この使用目的を意図した殺菌溶液のみを使用すること。すすぎ洗いには、脱塩水を使用するのが理想的であり、洗浄後は器具を乾燥させること。
7. 超音波で洗浄する場合は、器具を開いた状態にして、洗浄液の中に完全に浸し、脱塩水ですすぎ洗いするのが理想的である。洗浄後は、丁寧に乾燥させること。
8. 洗浄には器具ブラシのみを使用し、スチールウールは決して使用しないこと。
9. 洗浄処理の後、器具の金属と金属が接触する部位に潤滑油をさすこと。作動中に接触する表面に、ごく少量のオイルをさ

し、器具が油だらけにならぬよう、また、加圧滅菌装置の包装に油染みがつかないようにするため、余分なオイルを拭き取ること。器具オイルの代わりに水溶性潤滑剤を使う場合は、脱イオン水で溶液を希釈すること。

10. 金属が高温による影響を受けるため、乾熱滅菌は行わないこと。
11. メンテナンスおよび修理に出す場合は、メーカー指定の業者のみを利用すること。
12. 少なくとも年一回は非破壊検査等を行い、疲労亀裂などがなければ確認し、安全性を確保、担保すること。
13. 滅菌や乾燥などにて137℃を超えないこと（非金属部が損傷するため）。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社アルファメッド
東京都港区西麻布3-6-4 麻布パレス
TEL:03-3403-5432

外国製造業者：

ワルデマール リンク ゲーエムベーハー アンド シーオーケージー
(Waldemar Link GmbH & Co. KG)
国名：ドイツ